

貝ボタンの特長と取り扱い上の注意

【特長】

高瀬貝

高瀬貝は南洋に生息している巻貝です。オフホワイトのパール色で貝ボタンでは最もポピュラーな素材です。原貝はベージュ色をしており、製造時に晒してオフホワイトの色にしています。原貝のままだと「ベージュ」薬品処理で「スモーク」や「金茶」の色に加工しています。

黒蝶貝

南洋に生息する黒真珠の母貝です。黒味のあるパール色が美しい素材です。粘りのある素材なので、シャープな形状にも対応できる素材です。産地や貝を割り貫く部分によって色合いにバラつきがある素材です。

白蝶貝

真珠のようなきめ細かなパールの輝きがとても美しく、貝ボタンの中で最高級の素材です。粘りのある素材なので、シャープな形状にも対応できる素材です。ボタンの他にアクセサリや時計の文字盤にも使用されています。他の貝よりも高価で希少価値のある素材です。

茶蝶貝

別名を“マベ貝”と呼び、白蝶・黒蝶と同じく真珠母貝で茶系の柔らかい輝きのある素材です。白蝶や黒蝶に比べて、貝自体に丸みがあり、また、パール層も薄いため、色合いにバラつきも多く、加工できる形状は限られます。

【取り扱い上の注意】

素材の特性上、色合いやパールの輝き方に個体差があり、形状や厚みにも若干のバラつきがございます。

貝ボタンは割れやすい素材です。プレスの際はボタンを避けて行ってください。

また、搬送中の衝撃でも割れてしまう場合がございますので、お取扱いには十分ご注意ください。

縫製後に製品加工をされる場合、ボタンは必ず後から付けてください。

その他、不明な点がございましたら各担当者までお問い合わせ下さい。